

1 重要施設の分類

災害応急対策の実施のために不可欠となる施設を重要施設とし、以下の分類に類する番号と施設分類名称（適宜）を記入ください。

①から④に属さず災害応急対策の実施のために不可欠な施設は⑤として記載ください。

なお、下記の例示に挙げられていない施設を記載する場合は、記載する前に担当者あてご相談願います。

例) ①災害拠点病院、④上水施設 ⑤〇〇〇（施設適宜分類名称を記入）

①人命救助に関わる又は府民の生命維持等に必要な施設

- ・災害拠点病院、救急指定病院、その他病院、人工透析を行っている診療所（その他の診療所除く）
- ・医療依存度が高い利用者（人工呼吸器を使用など）が入所している社会福祉施設（具体的には、介護老人保健施設を想定）等

②災害対策本部等の指令機能を有する官公庁舎

府庁、各府総合庁舎、市町村庁舎、警察本部、消防本部 等

③防災関連施設

広域物資輸送拠点（京都舞鶴港、丹波自然運動公園、山城総合運動公園、京都パルスプラザ）、海上輸送拠点（京都舞鶴港）、各市町村の物資配送拠点、土木事務所、保健所、各支所・出張所、ダム施設、排水ポンプ場 等

④ライフライン施設

上下水道施設、通信施設（※）、ガス施設、交通施設（※）、報道機関 等

⑤その他、災害応急対策に不可欠な機能を有する施設

火葬場、ごみ焼却施設 等

※避難所、通信施設のうち基地局、交通施設のうち信号機は、停電時に優先復旧等の調整を実施することとし、本調査からは除外します。

2 施設名称 施設名称を記載ください。

3 所管機関

機関名 例) 京都府、府警本部、〇〇市・町・村、消防本部

部局名 例) 〇〇広域振興局、〇〇部、〇〇委員会

課名 例) 〇〇課 〇〇室

連絡先 日中、夜間の連絡先を記載ください。共通の場合はいずれも記載し、夜間の連絡先がない場合は「－」を記載ください。

備考 夜間の連絡先が守衛室等、別機関の場合はその旨記載ください

※民間施設の場合の所管機関は、報告機関の情報を記入ください。

なお、民間施設へは、災害時の被害報告でやり取りしている機関が依頼してください。

4 所在住所

市区町村名 例) 京都市上京区 (京都府外の場合は府県名・市区町村名を記載)
字名・番地 例) 河原町通広小路上る梶井町465

5 電気契約 (※関西電力(株)での調査が可能なためわかる範囲で記載ください。)

契約名義 契約名義 (氏名の間は一ます開ける) を記載ください。
ふりがなはカタカナ (氏名の間は一ます開ける) で記載ください。
お客様番号 14桁のお客様番号を記載ください。

6 施設担当者

代表電話番号 施設の代表電話番号を記入ください。
担当者名 主担当を担当者名1に副担当を担当者名2に記載ください。
担当者の電話番号 緊急・夜間の連絡先として主・副担当者へ繋がる番号 (携帯電話等) を記入ください。

7 非常用発電機

非常用発電機の有無

非常用発電機がある場合は「有」、ない場合は「無」を記入ください。

非常用発電機の連続運転可能時間 (定格)

燃料タンク満タンで定格の連続運転可能時間を時間単位 (分以下切捨) で記載ください。

例 72時間の場合は「72」と記入

燃料タンクの容量

非常用発電機に付属する燃料タンクの容量を「kℓ」単位で記入ください。

例 45.5kℓの場合は「45.5」、100ℓの場合は「0.1」と記入

燃料の種類 A重油、軽油、灯油など燃料の種類を記入ください。

燃料の備蓄の有無 非常用発電機のタンクとは別に燃料の備蓄がある場合は「有」、ない場合は「無」を記入ください。

備蓄容量 備蓄している燃料の容量を「kℓ」単位で記入ください。

8 非常用蓄電池

非常用蓄電池の有無

非常用蓄電池がある場合は「有」、ない場合は「無」を記入ください。

非常用蓄電池の連続運転可能時間 (定格)

定格の連続運転可能時間を時間単位 (分以下切捨) で記載ください。

例 10時間の場合は「10」と記入

9 備考

必要に応じて適宜記載ください。